

鶴田幼稚園

おじいちゃんおばあちゃんとふれあう



子供たちも杵を使ってつきました

12月12日(水)、鶴田幼稚園で餅つきが行われました。これは、高齢者との交流を目的として行われるもので、今年で3回目になります。

この日は、神子東老人クラブの9人の方と保護者を交えて、きねとうすを使って白餅とねったぼ(からいも餅)をつきました。ねったぼに使われたさつまいもは6月に高齢者と一緒に植え、11月に一緒に収穫したものを使いました。きねとうすを使っての餅つきは初めてという原田慎之介くんは「初めてしたけどとても楽しかったです。またやりたいです。」と話しました。また、神子東老人クラブ会長の高嶺輝美さんは「子どもたちと一緒にすると自分たちも若返ったような気がします」と大変喜んでいました。

柏原小学校

6メートルの巨大門松を設置

12月14日(金)、柏原小学校で高さ6メートルの巨大な門松が作られました。これは、6年生が思いづくりにと6年前から続いているもので、昨年は4メートルのものでしたが、児童の要望もあり6メートルもある大きなものができました。

この日は、気温も低く時折小雨がばらつく天候でしたが、児童16人と先生たちの協力で4時間かけて作り上げました。子供たちは大きな門松が完成し、「自分たちで作ったので感動しました。いい思い出になります。」と大変喜んでいました。



完成したばかりの門松

鶴田中学校餅つき体験

手作りのもち，それはふるさとの味



生き生きとした表情でもちを丸める生徒

12月16日(日)、鶴田中学校の校庭で杵とうすを使った餅つきが行われました。これは「若鶴タイム(総合的な学習の時間)」で田植えから稲刈り脱穀までしたもち米を利用して保護者と一緒に実施されたものです。

テレビ、ゲーム機、パソコン等バーチャルな世界が広がる中、昔ながらの餅つきを体験した生徒は、機械の利便さを実感しながらも、共同作業の楽しさ・必要性、手作りのよさ、親のわざのすばらしさを実感することができました。参加した保護者の方は「生き生きとした表情で、自分たちから進んでしている姿がとてもいいです。」と喜んでいました。できあがった餅は、アルテンハイム鶴宮園とパラディーノほたるの里にもプレゼントをしました。

町内小・中学校

手漉き和紙で卒業証書をつくったよ



野元さんの指導を受けながら紙を漉く生徒

12月12日(水)、中学校の3年生70人が手漉き和紙の卒業証書を作成しました。これは、昨年から始まったもので、神子大俣の野元八千代さんと政志さんから指導を受けながら、一人ずつ紙を漉きました。紙を漉いた市成好美さんは「手をつけたとき水が冷く、漉くのは難しかったけど、うまくできてよかったです。いい思い出になります」と感想を話しました。この卒業証書の紙漉きは、14日18日、19日に、それぞれ小学校の6年生も体験しました。

鶴田中学校父母セミナー

竹炭のペンダントをつくりました

12月4日(火)、町中央公民館で中学校の父母セミナーがあり、竹炭のペンダント作りが行われました。

山口県から講師として招かれた、新野恵さんとアシスタントの佐貫公美さんから指導を受け、竹炭をサンドペーパーで磨いて作りました。また、新野さんからペンダントを作りながら竹炭の効力についての話もあり参加者はその効果に驚いている様子でした。

参加した楠木園尊くんは「光を出すのが難しかったけど楽しく作ることができました」上川畑智美さんは「形は悪かったけど最後はきれいに作ることができました。機会があったらまた作りたいです。」と大変喜んでいました。



サンドペーパーで竹炭を磨く参加者

種子田自治公民館

自主防災組織が防災訓練



多くの方が参加しました

12月9日(日)種子田自治公民館で火災の防災訓練が行われました。これは、昨年結成された自主防災組織が主体となり、親子でグラウンドゴルフをしたあとに公民館で行われました。訓練は、消防署の職員から説明を聞きながら、発火した天ぷら鍋に、湿らせた布をかぶせて消火する訓練が行われました。その後、火災の恐ろしさ、避難の仕方などのビデオ鑑賞会が行われました。自主防災組織の永野則雄さんは「訓練は年3回ほど実施しています。多くの集落民が参加し防災意識も高まってきていますね」と話されました。